

季刊・オーディオ アクセサリー

# Audio Accessory

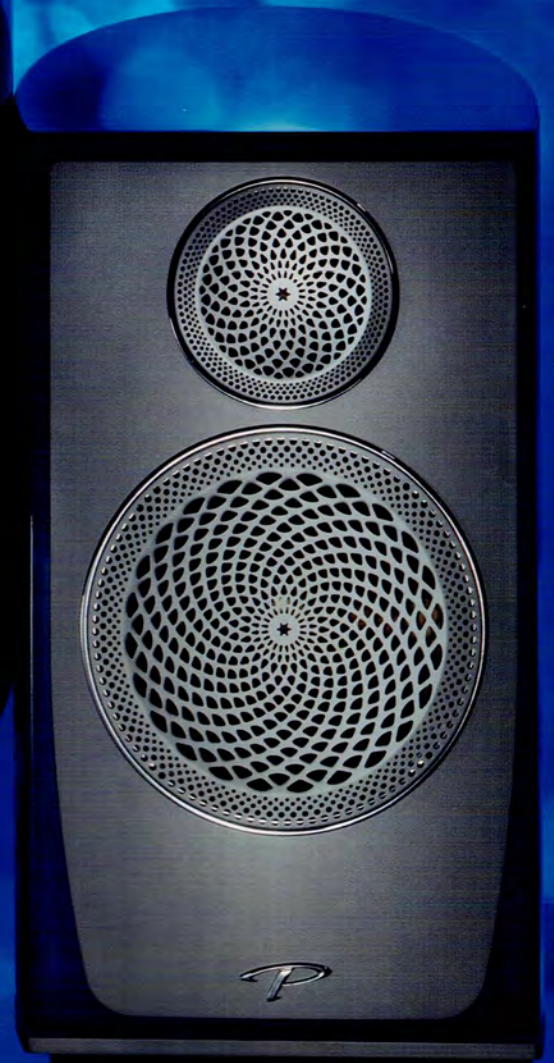
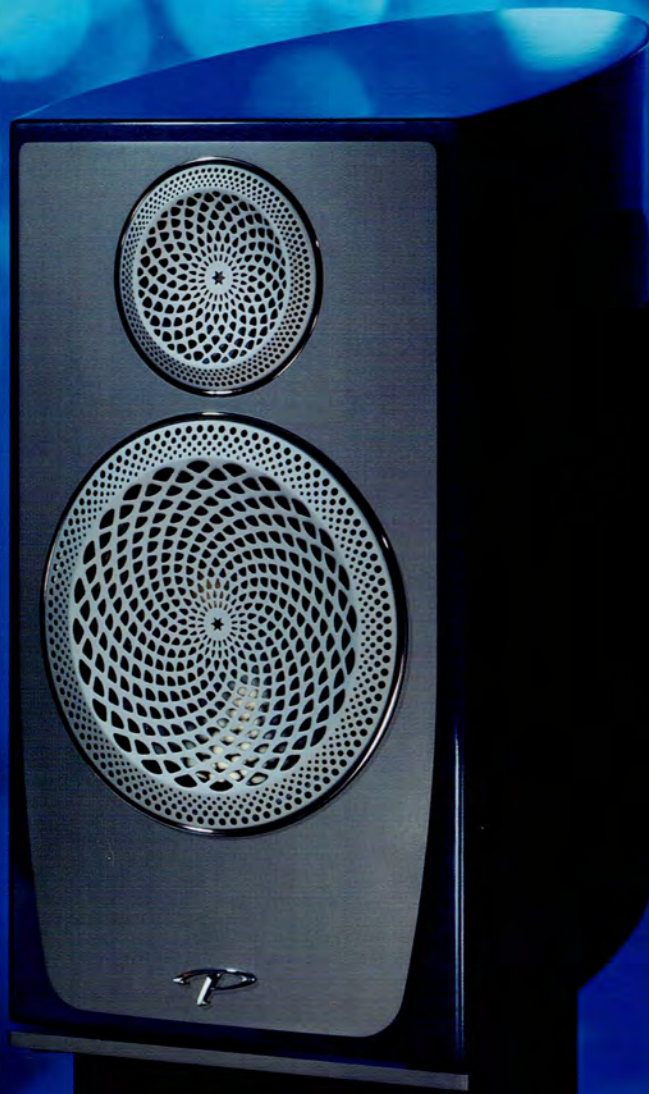
2022 AUTUMN 186

特別企画

## “ペルソナ”を 愛する 評論家たち

# アクティブ・スピーカーの世界

ミニマムで上質なシステムを構築



省エネ&グレードアップ

## アースケーブル一斉比較

評論家が自作を競う

## 電源ケーブル自作選手権

2022年秋の陣



# 注目ブランドの中核コンビが 話題のスピーカー3機種をドライブ

ACCUSTIC ARTS

## POWER I

プリメインアンプ  
¥1,210,000(税込)

Text by  
小林 貢

Mitsugu Kobayashi

Photo by 田代法生



### Specifications

<PLAYER I>●再生フォーマット:CD、CD-R、CD-RW●アナログ出力:XLR(47Ω×2)、RCA(47Ω)●デジタル入力:RCA同軸×2、光TOS、USB2.0●デジタル出力:RCA、光TOS●入力データ:ハイレゾオーディオ192kHz/24bit(ALAC、FLAC、AIFF、WAV等)、DSD 128●DAC:384kHz/32bit アップサンプリング●歪(THD+N):0.01%●クロストーク:<100dB with digital 0dB●サイズ:482W×130H×380Dmm●質量:約12kg

<POWER I>●アナログ入力:XLR×2、RCA×3、RCA×1(アンバランス or SURROUND-BYPASS)●アナログ出力:RCA×1(pre-out 47Ω)●ヘッドフォン出力:6.3mm金属ソケット 25Ω以下●左右信号差:0.4dB以下(0~40dB)●入力抵抗:XLR 50kΩ×2、RCA 50kΩ●パワー出力(THD+N=0.1%):170W/ch(8Ω)、260W/ch(4Ω)●立ち上がり/下がり時間:4.6μs @4Ω●SN比:-97dBA(ref 6.325V)●歪:0.015%●電源トランス:500VA トロイダルコアトランス●ダンピングファクター(THD+N):700以上●電源キャパシタンス:80,000μF●消費電力:約60W(無負荷)●サイズ:482W×145H×450Dmm●質量:約22kg●取り扱い:(株)ハイファイ・ジャパン

ACCUSTIC ARTS(アコースティック・アーツ)はドイツの著名ハイエンドブランド。CDプレーヤーのPLAYER IとプリメインアンプPOWER Iは、同ブランドTOP Seriesの中核モデルである。今回は、人気スピーカーを組み合わせることで、PLAYER I/POWER Iコンビの実力を探ってみたい。



# PLAYER I

CDプレーヤー  
¥1,210,000(税込)

**注目ブランドの中核機と  
人気スピーカーの組み合わせ**

ドイツ、アコースティック・アーツは1996年にフリッツ・シユンクによって設立された、ハイエンド指向のオーディオブランドだ。同社はメルセデス・ベントツやポルシェなど、著名な自動車メーカーのあるシュトゥットガルト近郊に拠を構えている。同社の前身は当地でロボットや産業用工作機械を開発していた、シユンク・オーディオ・エンジニアリングというファミリー企業だった。日本に輸入されたのは2002年頃と記憶しているが、アンプやCDプレーヤーなどが先行したためエレクトロニクス系メーカーとイメージされがちだが、最初に手掛けたのはPROLINE MS1という小型2ウェイのスタジオモニター機であったという。同社のエレクトロニクス系製品は、ドイツ製らしい精緻な機構とデザインで広いレンジと高SN比、高解像度な現代的なサウンドを実現していた。

筆者は同社の製品を高く評価するとともに、常に注目してきた。そんな事から同社製品の実力と魅力を再確認しようということで、2020年に登場した一体型アン

POWER IIとCDプレーヤーのPLAYERRIを3タイプのスピーカーシステムと組み合わせて試験テストを敢行することとなった。

従来同社は、ベーシックなES、ミディアムレンジのTOP、最上位のREFERENCEの3シリーズで展開していたが、今回の2モデルの改良によりESは廃番となった。PLAYERRIは振動対策が施されたCDドライブメカを搭載、高性能のDACを内蔵し、384kHz/24bitのアップサンプリング技術も採用されている。POWERIIは12個のバイポーラ出力素子により260W/ch(4Ω)というハイパワーを実現。電磁シールドケースに収納された500VAのトroidal電源トランスを搭載、プリ部とパワー部、LRchごとに別々の巻き線にすることで高いSN比が確保されている。

●Monitor Audio/PL200II  
**空気感を鮮明に再現し  
 音像の輪郭を曖昧にしない**

PL200IIは本誌試験室でレファレンスとして筆者が使用しているシステムであり、同ブランドの旗艦シリーズの中核となる。ワシントン上にPL300IIが存在するが、我が国の一般的な家庭内

であれば本機の方が相応しいと思う。低域再生限界から超高域までスムーズに伸びた優れた「特」を実現し、帯域バランスの良さがあり、色づけのないナチュラルなサウンドが聴ける。そして各ユニットの繋がりが高く3ウェイ構成ということを感じさせない。

『ジュビレーション』のドラムソロでは各ユニットがスピーディに立ち上がり、キックドラムの空気感も鮮明に再現され音像の輪郭を曖昧にすることがない。そしていつもより大きな音量で聴いた時のフロアタムやキックドラムのアタック音の力感や音圧感を強調することなく、品位の高さが感じられる。「LIVE」はピアノトリオとは思えない重厚感があるが重苦しさがなく、音像を曖昧にすることがない。R・クロフォードのヴォーカルは質感がリアルでありソウルフルでありながら、しなやかさやキメの細かさを感じられるのが好ましい。

●Paradigm/PERSONA B  
**細部を克明に描き出す  
 無機質な響きにならない**

理想に近い振動板素材といわれるベリリウム振動板搭載ユニットで全帯域を受け持つだけに、色づけのないナチュラルな質感の鮮度

組 み合わせたスピーカーシステム



**Bowers & Wilkins  
 803 D4**

¥1,639,000(ロスナット/1台、税込)  
 ●型式:3ウェイ バスレフ型 ●ユニット:25mmダイヤモンドドーム・トワイター、130mmコンチニウム・コーンFSTミッドレンジ、180mmエアロフォイル・コーン・バスユニット×2 ●周波数範囲:16Hz~35kHz ●周波数レスポンス:19Hz~28kHz(基準軸に対し±3dB) ●感度:90dB(軸上1m/2.83Vrms) ●公称インピーダンス:8Ω(最小3.0Ω) ●推奨アンプ出力:50~500W(8Ω、クリップしていないプログラムで) ●サイズ:357W×1165H×511Dmm ●質量:62.15kg ●取り扱い:(株)ディーアンドエムホールディングス



**Paradigm  
 PERSONA B**

¥1,650,000(ペア、税込)  
 ●型式:2ウェイ バスレフ型 ●クロスオーバー:2kHz ●周波数特性:60Hz~45kHz±2dB ●ユニット:φ25mm Truextent ベリリウムドーム型、φ178mm Truextent ベリリウムコーン型 ●感度:92dB ●インピーダンス:8Ω ●推奨アンプ出力:15~250W ●最大入力:150W ●サイズ:225W×435H×330mm ●質量:14kg ●専用スタンド付属 ●取り扱い:(株)PDN



**Monitor Audio  
 PL200 II**

¥1,760,000(ペア、税込)  
 ●型式:3ウェイ4スピーカー バスレフ型 ●ユニット:MPDトランスデューサー、100mm RDT II Midドライバー、165mm RDT II Bassドライバー×2 ●周波数特性:35Hz~100kHz ●クロスオーバー:MF/HF 3.9kHz、LF/MF 750Hz ●感度:90dB ●最大SPL:117dB(A) ●許容入力:250W ●インピーダンス:4Ω ●推奨アンプ出力:100~250W ●サイズ:380W×1052H×408Dmm ●質量:36.08kg ●取り扱い:(株)ナスベック

# 価格以上のパフォーマンスを 実現していることが確認できた

の高い再生音が聴ける。また十分な剛性を確保し平行面を排したエングロージャーによるのだから、聴感上で高いSN比が確保され、弱音部などで背景に静けさが高まっていく。高い解像度が確保され、ディテールの情報も克明に描き出し、検聴的な無機質な響きとならないのが好ましい。またピアノの高音部やシンバルの余韻もキメ細かさがあり、余韻の透明度も高い。

な音像が得られる。

●Bowers & Wilkins/803 D4  
**弱音部や無音部の静寂感が明らかに高まっている**

同社は早い時期からコンピュター解析などを採り入れ、先進的なシステム設計を行ってきた。そんな同社の最新鋭システムだけに、入力信号を忠実に音楽として再構築するという印象を受ける。聴感上で十分なレンジを確保しているが、帯域内の密度が高く低音楽器の音圧感をリアルに再現。アタック音に対して素早く反応し正確に制動する。これは本機の60kg以上という重量によりエンクロージャーの剛性が確保され、ウーファ―振動板の反作用を適切に排除していると思う。

『新世界より』もナチュラルな質感で、アナログ録音ならではの充実感があり、合奏部の重厚感や迫力をリアルに再生する。弱音部の高音弦楽器の繊細感や低音弦楽器の豊かな響きを強調することなく自然に再現する。アコースティック・アーツのペアにより、本機の

アキュレイトなサウンドが際立ち、細部の情報が明晰に描き出すとともに、弱音部や無音部の静寂感が明らかに高まっていく。『LIVE E』ではヴォーカルの音像が具体的に、息遣いやヴィブラートも鮮明に再現された。同社最上位シリーズだけに、完成度の高さが感じられる。

**国内メーカー機と十分な競争力を持つ価格設定**

今回の取材でアコースティック・アーツの製品が価格以上のパフォーマンスを実現していることが確認できた。

数年前に問い合わせたところ、同社は年間約1000ユニット程度を生産しているという。海外製の高級機は国産機に比べ、コストパフォーマンスという点でどうしても不利になってしまう。しかし同社は、これだけの数の製品を小人数で丁寧生産することで、国内メーカーの製品と十分な競争力を持つ価格設定を可能にしているのだ。



POWER Iの背面部。アナログ入力はRCA×3とXLR×2を装備する。スピーカー出力端子は1系統



PLAYER Iの背面部。アナログ出力はRCAとXLRを装備。デジタル入力はRCA同軸×2、光トス、USBを装備する

## 試聴ソフト

【CD】『Jubilation』八城邦義プロジェクト〜フィーチャリング2トロンボーンズ(ウディックリーク CD-1008)

【CD】『Live』Randy Crawford, Joe Sample (PRA Records PR603122)

【CD】『ドヴォルザーク 交響曲 第9番 新世界より』ケルテス指揮 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団(グランドスラムGS- 2249)

【CD】『サムシング・トゥモロー』エンリコ・ピエラ ヌンツィ(STORYVILLE KJ-186)

【CD】『Royal Jam』The Crusaders with B.B.King and the Royal Philharmonic Orchestra(GRP GRP01352)



付属のリモコン。PLAYER I、POWER Iの両方を操作することができる



PLAYER Iはディスプレイ部とトレイ部に同じデザインが採用されている。トレイ部は下になる



Finest Music Components  
Handmade in Germany



## TOP SERIES

PLAYER I Premium CD player + DA-converter ¥1,210,000/税込  
POWER I Integrated stereo power amplifier ¥1,210,000/税込

[www.accusticarts.com](http://www.accusticarts.com) / [www.hifijapan.co.jp](http://www.hifijapan.co.jp)